

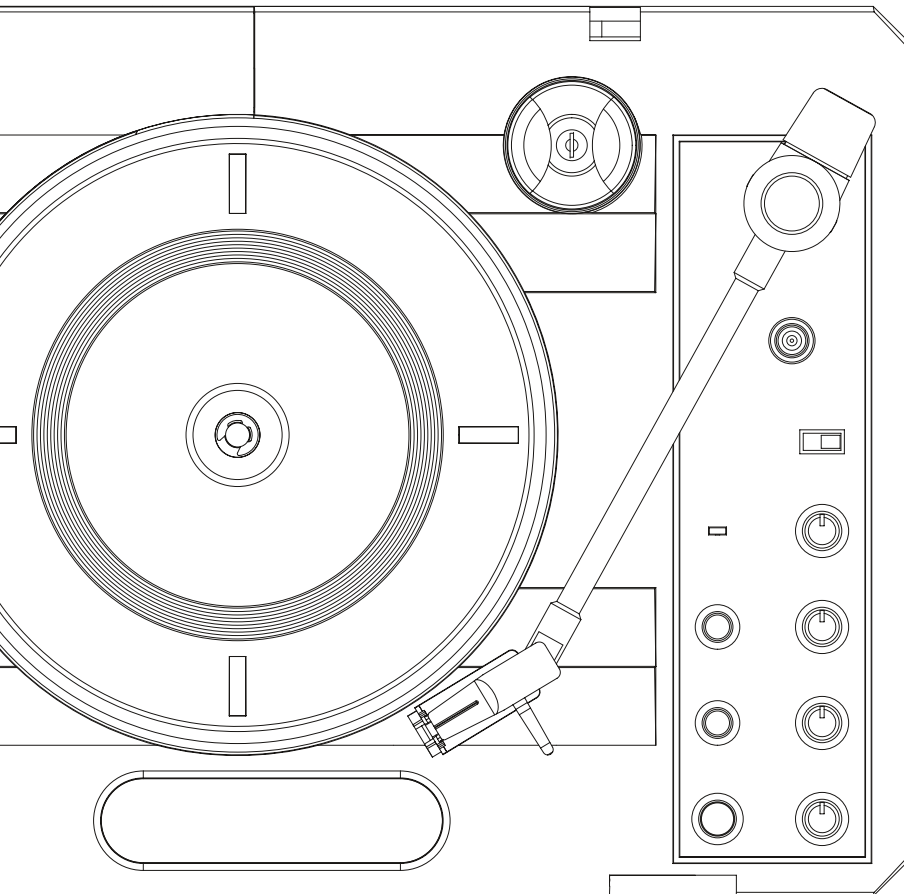
## 取扱説明書

### 注意！

安全のためにご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。本製品の設置、セットアップ、オペレーションを行なう際は、この取扱説明書をよくお読みになり、指示に従ってください。また、メンテナンス、サービスを受ける場合には、適切な資格のあるサービスマンに依頼してください。この製品は、ヨーロッパと国家規制要件に準拠しており、適合が証明されています。それぞれの声明と文書はメーカーに保管されています。

# SPiN

PORTABLE TURNTABLE SYSTEM



### 警告！

火災や感電を防ぐため、装置を水や液体にさらさないでください！  
また、本体は分解しないでください！

この度は「Reloop SPIN」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。安全のためにご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。本製品の設置、セットアップ、オペレーションを行なう際は、この取扱説明書をよくお読みになり、指示に従ってください。また、メンテナンス、サービスを受ける場合には、適切な資格のあるサービスマンに依頼してください。この製品は、ヨーロッパと国家規制要件に準拠しており、適合が証明されています。それぞれの声明と文書はメーカーに保管されています。

## 目次

<安全にご使用いただくために> .....	2	7. 電源 LED .....	5	20. POWER スイッチ .....	6
<規則に従った使用方法について> .....	3	8. PITCH ノブ .....	5	21. USB 電源端子 .....	6
<メンテナンス> .....	3	9. 回転数切替スイッチ .....	5	22. バッテリー・コンパートメント .....	6
<テクニカルサポートについて> .....	3	10. クロスフェーダー .....	5	23. AUX IN 端子 (φ3.5mm) .....	6
<各部の名称> .....	4	11. 7 インチ用 EP アダプター .....	5	24. スピーカー .....	6
<設置と接続> .....	5	12. カートリッジ付トーンアーム .....	5	<クロスフェーダー> .....	6
<操作> .....	5	13. プラッター .....	6	<電源供給> .....	7
1. PLAY/STOP ボタン .....	5	14. トーンアーム・レスト .....	6	<カートリッジの針先を交換する> .....	7
2. VOLUME 調整ノブ .....	5	15. トーンアーム・ホルダー .....	6	<技術仕様> .....	7
3. Bluetooth PAIRING ボタン .....	5	16. Kensington ロック・スロット .....	6	<接続例> .....	8
4. AUX-IN ボリューム調整ノブ .....	5	17. USB REC 端子 .....	6		
5. USB REC ボタン .....	5	18. HEADPHONES OUT 端子 .....	6		
6. TONE 調整ノブ .....	5	19. MASTER OUT 端子 .....	6		

本製品をご使用の前に、すべての項目をお読みいただき内容に従ってください。

また、最初に本製品を梱包から取り出した際に、破損や欠品がないことをご確認ください。

もし、電源ケーブルや外装に損傷があった場合は、直ちに使用を中止し、お求めの販売店ご連絡ください。

## 安全にご使用いただくために

### 注意！

電源・電池を取り扱うときは十分にご注意ください。この定格電圧は深刻な感電につながる可能性があります。取扱説明書の定める使用方法を遵守されない場合の損害はいかなる補償請求も対象外とします。メーカーは、資産に対する損害、または安全上の指示を遵守しない不適切な使用による人身損害の責任を負いません。

- 本製品は完全な状態で工場を出荷しています。この状態を維持してリスクのないオペレーションを確実にするためにユーザーは、この取扱説明書に記載されている安全に関する指示と警告を読む必要があります。
- 安全性と認可 (CE) の理由から、本製品の未許可の改造、修正は禁止されています。本製品の未許可の修正に起因する損害の場合、どのような保証請求も除外される点にご注意ください。
- 外部から交換可能な消耗部品を除いて、製品の内部はメンテナンスを必要とするパーツはありません。資格を有するスタッフがメンテナンスを行なう以外は、保証が適用されません。
- ヒューズは、同じクラスのヒューズと交換しなければなりません。
- 本製品を完全にセットアップしたあとに、電源を供給するだけの状態であることを確認してください。常にメインプラグを最後に接続してください。製品に電源ケーブルを接続する際にメインスイッチが「オフ」の位置にあることを確認してください。
- 規格に準拠したケーブルのみをご使用ください。すべてのジャックやネジが締められ、正しく接続されていることを確認してください。ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店にご確認ください。
- 本製品をセッティングする際に、ケーブルが鋭い物によって押しつぶされ、損害を受けないようにご注意ください。
- ケーブルが他のケーブルと接触しないようにご注意ください。電源ケーブルを接続する際は十分にご注意ください。濡れた手でこれらのパーツに決して触れないでください。
- 電源ケーブルは、耐震性のある電源アウトレットに接続してください。使用可能な唯一の電源サプライポイントは、公共の電源供給ネットワークの仕様に適合したアウトレットです。
- 使用しない場合、また掃除を行う前には本製品を電源アウトレットから外してください。その際、必ずケーブルのプラグを持つようにしてください。ケーブルを持って引き抜かないようにしてください。
- 本製品は、水平の安定した不燃性の高い場所に設置してください。
- 本製品を設置し、操作を行う場合には、激しい衝撃を与えないでください。
- 設置する場所は、本製品が過度の熱、湿度、ほこりにさらされない場所に設置してください。ケーブルが煩雑に置かれていないことを確認してください。上記を守れない場合、使用者を危険にさらす場合があります。
- 本製品の上に液体をこぼしやすい容器を置かないでください。万が一、液体が本製品内にこぼれた場合、直ちに電源プラグを抜いてください。再度使用する場合には、資格のあるサービス技術者によって確認された製品をご使用ください。製品内部への液体の混入による損害は保証の対象外となります。
- 極端な高温 (35°C 以上)、または極端な低温 (5°C 以下) で本製品を使用しないでください。直射日光、ラジエーター、オープン (閉じられた車内も含みます) などの熱源に直接触れるような場所に本製品を置かないでください。冷却ファンや通気孔をふさがないでください。常に十分な換気を確保してください。
- 本製品は、暖かい環境から冷えた環境に移動した直後に動作させないでください。この状況で起こる結露によって故障の原因となります。周囲の温度に達するまで電源を入れずにお待ちください。
- コントロールやスイッチには、クリーニング剤や潤滑油などのスプレーを使用しないでください。本製品は湿った布できれいに拭きとるだけにしてください。クリーニングのために石油ベースの溶剤や、洗浄液を使用しないでください。
- 本製品を、移動や輸送する際、購入時に梱包されていた箱をご使用ください。
- 電気が供給される本製品は小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。また、お子様のいる環境下でのご使用には十分ご注意ください。
- 商業的な施設では、管理者や責任者によって定められた事故防止の規則を遵守しなければなりません。
- 学校、トレーニング施設、趣味、ワークショップなどで本製品を使用する際は、訓練されたスタッフの責任のもとで監視する必要があります。
- 後に質問や問題が発生した場合、参照するためにこの取扱説明書を安全な場所に保管してください。

## 規則に従った使用方法について

1. 本製品は、12 インチおよび7 インチのレコードを再生するためのポータブル・ターンテーブルです。
2. 取扱説明書に記載されている目的以外のために本製品を使用する際、製品に損害が起こる場合があります。その場合は保証の対象外となります。また指定した目的に準拠しない使用方法では、回路のショートや火災、感電などの危険を伴う場合があります。
3. メーカーによって定められたシリアルナンバーは、保証の権利を証明するために大切に保管してください。

## メンテナンス

1. 定期的に、本体、ならびに本体のパーツ（ノブ、フェーダー、ターンテーブル・ベルト、カートリッジなど）、製品への取り付けに関する技術的な安全をチェックしてください。
2. 安全な操作が可能ではないと仮定される状況下では、直ちに本製品の使用を中止し、安全を確保してください。必ず電源プラグや充電池を外してください。
3. 本製品が、好ましくない状況下、または輸送や長期間の保管により機能していない、または目に見える欠陥を負った場合は、安全な操作は不可能と仮定しなければなりません。

## テクニカルサポートについて

本書をご覧いただいても解決できない問題がございましたら、Dirigent カスタマーサポートまでご連絡ください。

尚、サポート・サービスをご利用いただくためには、Dirigent へのユーザー登録が必要です。登録の確認ができない場合、サポート・サービスをご利用いただくことができません。予めご了承ください。

### ■ Dirigent へのご登録方法：

Dirigent ユーザー登録ページ (<https://dirigent.jp/regist/>) にアクセスし、Reloop オンライン登録フォームよりご登録をお願いいたします。

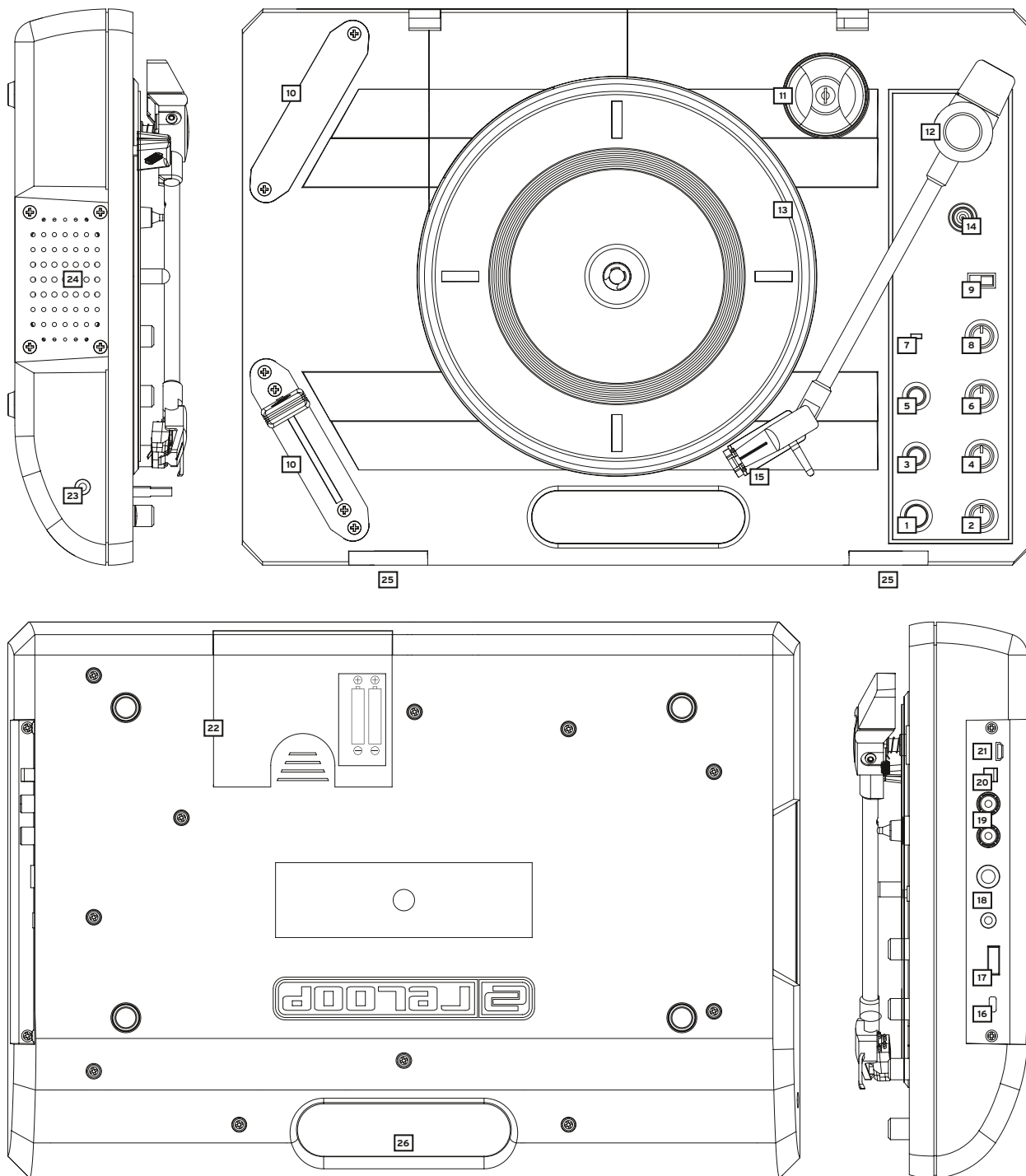
### ■ Dirigent カスタマーサポート：

メールでのお問い合わせは、ユーザー登録後、下記 Dirigent マイページのお問い合わせフォームをご利用ください。

### Dirigent マイページ・ログイン：

<https://area31.smp.ne.jp/area/p/lbph7lbtir7maofq6/3HYze5/login.html>

## 各部の名称



1. PLAY/STOP ボタン
2. VOLUME 調整ノブ
3. Bluetooth PAIRING ボタン
4. AUX-IN ボリューム調整ノブ
5. USB REC ボタン
6. TONE 調整ノブ
7. 電源 LED
8. PITCH ノブ
9. 回転数切替スイッチ (33 / 45 / 78)
10. クロスフェーダー
11. 7 インチ用 EP アダプター
12. カートリッジ付トーンアーム
13. プラッター
14. トーンアーム・レスト
15. トーンアーム・ホルダー

16. Kensington ロック・スロット
17. USB REC 端子
18. HEADPHONES OUT 端子 (φ3.5mm / 6.5mm)
19. MASTER OUT 端子 (RCA)
20. POWER スイッチ
21. USB 電源端子 (micro USB)
22. バッテリー・コンパートメント
23. AUX IN 端子 (φ3.5mm)
24. スピーカー
25. ダストカバー・ロック
26. キャリング・ハンドル
27. ダストカバー

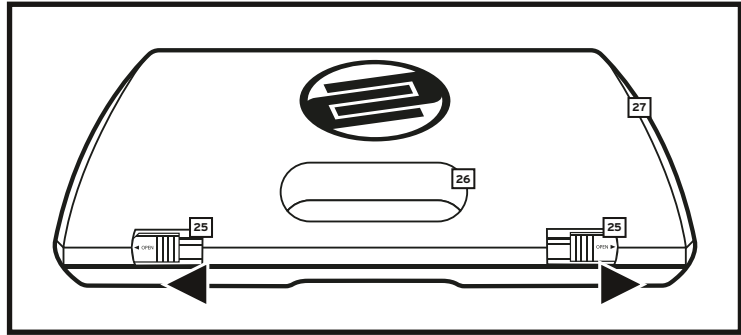
### 付属品：

- スリッパマット
- スクラッチレコード
- USB ケーブル

## 設置と接続

1. USB AC アダプターや市販の USB モバイルバッテリーを本体の USB 電源端子 [21] に接続するか、あるいは 2 本のリチウムイオン 18650 充電池 (別売) をバッテリー・コンパートメント [22] に挿入します。
2. ダストカバーを外すには、図の矢印の通りに左右のロックをスライドし、優しくカバーを取り外します。

注意:電源の取り扱いに関して、詳しくは、後述の「電源供給」の項目をご参照ください。



## 操作

### 1. PLAY/STOP ボタン

このボタンを押して、ターンテーブルを回転させます。もう一度押すと停止します。

### 2. VOLUME 調整ノブ

このノブで、音量を調整します。

### 3. Bluetooth PAIRING ボタン

このボタンを使用して、Bluetooth 対応の外部再生デバイス (スマートフォンなど) と SPIN の Bluetooth ペアリングを行います。SPIN が外部デバイスとペアリングしていない場合、このボタンはゆっくり点滅します。ボタンを約 2 秒間押し、ペアリングモードに切り替わり、ボタンは素早く点滅します。外部再生デバイスの Bluetooth 設定画面を開き、表示されている ReLoop SPIN を選択し、接続します。正常にペアリングが完了すると、このボタンは点灯状態になり、外部再生デバイスからの音声を SPIN のスピーカーで再生することができます。

### 4. AUX-IN ボリューム調整ノブ

このノブで、外部入力された音声の音量を調整します。

### 5. USB REC ボタン

このボタンを押すと、SPIN に接続した USB メモリに SPIN の再生音が録音されます。録音中は、このボタンがゆっくり点滅します。録音を停止するには、もう一度ボタンを押します。データ保存中は、このボタンは素早く点滅します。ボタンが点灯状態になれば、再度録音を開始することができます。

注意:録音する前に、FAT32 でフォーマットされた USB メモリを USB REC 端子 [17] に接続しておきます。USB メモリにはふたつのフォルダーが自動的に作成され、その中に MP3 フォーマットで音声データが記録されます。

### 6. TONE 調整ノブ

このノブで、低音域の音量を調整します。LO (-) 側に回すと低音域の音量が小さくなり、LO (+) に回すことで低音域が強調されます。

### 7. 電源 LED

本体の電源がオンのときにこの LED が点灯します。

### 8. PITCH ノブ

このノブで、レコード再生音のピッチを  $\pm 20\%$  の範囲で調整します (78 回転の場合は、 $+10\%$  /  $-25\%$ )。

### 9. 回転数切替スイッチ

このスイッチで、レコードの回転数を選択します (33、45、78 回転)。

### 10. クロスフェーダー

このフェーダーを使って、DJ ターンテーブルと DJ ミキサーを使用するようなスクラッチ・プレイを SPIN で再現できます。

注意:クロスフェーダーが一番右にある場合は、Bluetooth を含む外部入力の音声が聞こえます。フェーダーを少し左に動かすと、SPIN のレコード再生音が聞こえ始め、クロスフェーダーを一番左に動かすとレコード再生音のみが聞こえます。クロスフェーダーに関する詳細は、後述の「クロスフェーダー」の項目をご参照ください。

### 11. 7 インチ用 EP アダプター

7 インチ EP 盤を再生させる際に使用します。

### 12. カートリッジ付トーンアーム

SPIN のトーンアームには、出荷時にカートリッジが取り付けられています。針先は、ユーザー自身で交換可能です (詳しくは、後述の「カートリッジの針先を交換する」の項目をご参照ください)。レコード盤を再生するには、トーンアームをトーンアーム・ホルダー [15] から取り外すか、トーンアーム・レスト [14] から下ろして、プラッターの方に移動させ、レコード盤の上に優しく置きます。

### 13. プラッター

付属のスリップマットをプラッターの上に載せ、その上に、再生したいレコード盤を載せます。

### 14. トーンアーム・レスト

レコード盤を交換する時に、一時的にトーンアームをここに載せておきます。

### 15. トーンアーム・ホルダー

長期間 SPIN を使用しない場合や、SPIN を運搬する場合に、トーンアームをここに固定しておきます。

### 16. Kensington ロック・スロット

Kensington ロックを使用する際に使います。

### 17. USB REC 端子

SPIN の再生音を録音する際に、事前に USB メモリをここに接続しておきます。

### 18. HEADPHONES OUT 端子 (φ3.5mm / 6.5mm)

ステレオミニ端子 (φ3.5mm) またはステレオ標準端子 (φ6.5mm) にヘッドホンを接続します。

### 19. MASTER OUT 端子 (RCA)

この端子を利用して、SPIN の再生音を外部のサウンドシステムで再生することができます。

### 20. POWER スイッチ

このスイッチで、SPIN 本体の電源のオン・オフを切り替えます。

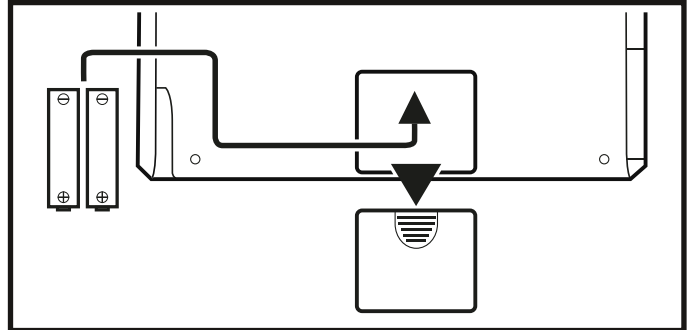
### 21. USB 電源端子 (micro USB)

USB AC アダプター (5V / 2A) をここに接続します。

### 22. バッテリー・コンパートメント

別売の 18650 リチウムイオン充電電池 (2 本) を使って SPIN を動作させることもできます。その場合は、充電済みの 18650 リチウムイオン充電電池 (2 本) をここにセットします。

注意：詳細は、後述の「電源供給」の項目をご参照ください。



### 23. AUX IN 端子 (φ3.5mm)

外部再生デバイスをここに接続します。

### 24. スピーカー

SPIN には、3W のスピーカーが搭載されていますので、その場ですぐにアナログレコードを楽しむことができます。

注意：この内蔵スピーカーは、MASTER OUT 端子 (RCA) [19] から外部サウンドシステムに接続している場合、あるいは、HEADPHONES OUT 端子 (φ3.5mm / 6.5mm) [18] にヘッドホンが接続している場合は、自動的にミュートされます。

## クロスフェーダー

クロスフェーダーは、ユーザー自身で交換可能です。また、左右反対側のコンパートメントに付け替えることができます。

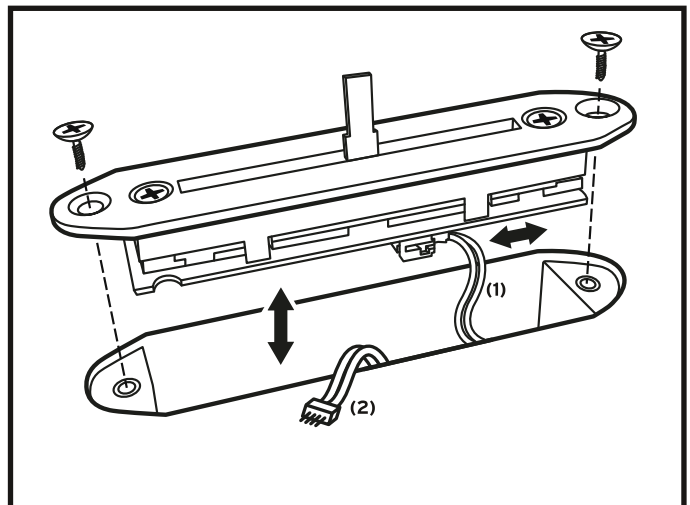
#### 左右反対側のコンパートメントに付け替える場合：

まずクロスフェーダーキャップ (ノブ) を外し、次に 2 本のネジを取り外して、フェーダーをコンパートメントから引き出し、ケーブルをプリント基板のソケットから優しく取り外します。その後、反対側のコンパートメントの 2 本のネジを緩めカバーを外して、ケーブルを引き出してフェーダーのソケットに接続します。最後に、元のコンパートメントにカバーを取り付けます。

#### クロスフェーダーを交換する場合：

まずクロスフェーダーキャップ (ノブ) を外し、次に 2 本のネジを取り外して、フェーダーをコンパートメントから引き出し、ケーブルをプリント基板のソケットから優しく取り外します。新しいフェーダーにケーブルを元のように接続してコンパートメントに収め、2 本のネジを締めて固定します。

注意：各コンパートメントには、追加のケーブル<図中 (2) のケーブル>がありますが、これはサードパーティ製の (デジタル) クロスフェーダーを取り付ける際に使用します。



## 電源供給

SPIN は、以下の 3 通りの電源供給方法で動作させることができます。

### 1. 充電電池：

別売の 18650 リチウムイオン充電電池（2 本）をバッテリー・コンパートメント [22] にセットします。

注意：充電電池がバッテリー・コンパートメント [22] にセットされた状態で、USB AC アダプターや USB モバイルバッテリーを接続させた場合、充電電池は充電状態となります。SPIN を長期間使用しない場合は、充電電池を取り外しておいてください。

### 2. USB AC アダプター：

SPIN は、5V/2A 規格の USB AC アダプターから給電することも可能です。USB AC アダプターからのケーブルを USB 電源端子（micro USB）[21] に接続します。

注意：必ず 2A 以上のアダプターをご使用ください。

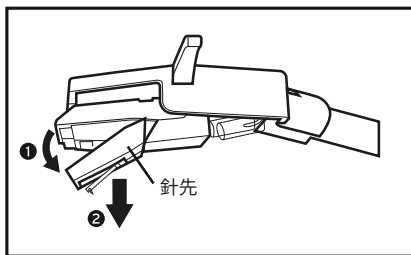
### 3. USB モバイルバッテリー：

同様に、SPIN は、市販されている USB モバイルバッテリーでも動作可能です。モバイルバッテリーからのケーブルを USB 電源端子（micro USB）[21] に接続します。

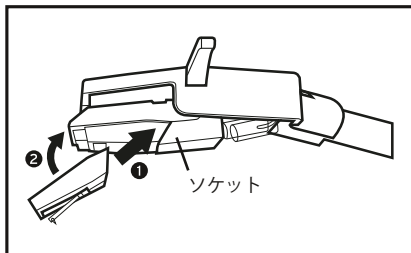
注意：必ず 5V/2A 規格のモバイルバッテリーをご使用ください。

## カートリッジの針先を交換する

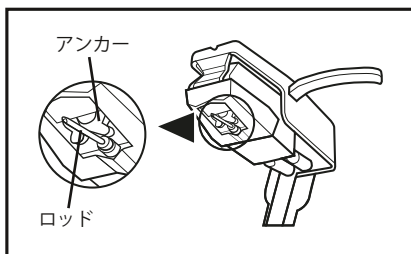
1. 図のようにカートリッジから針先を取り外します。



2. 図のようにカートリッジに新しい針先を取り付けます。



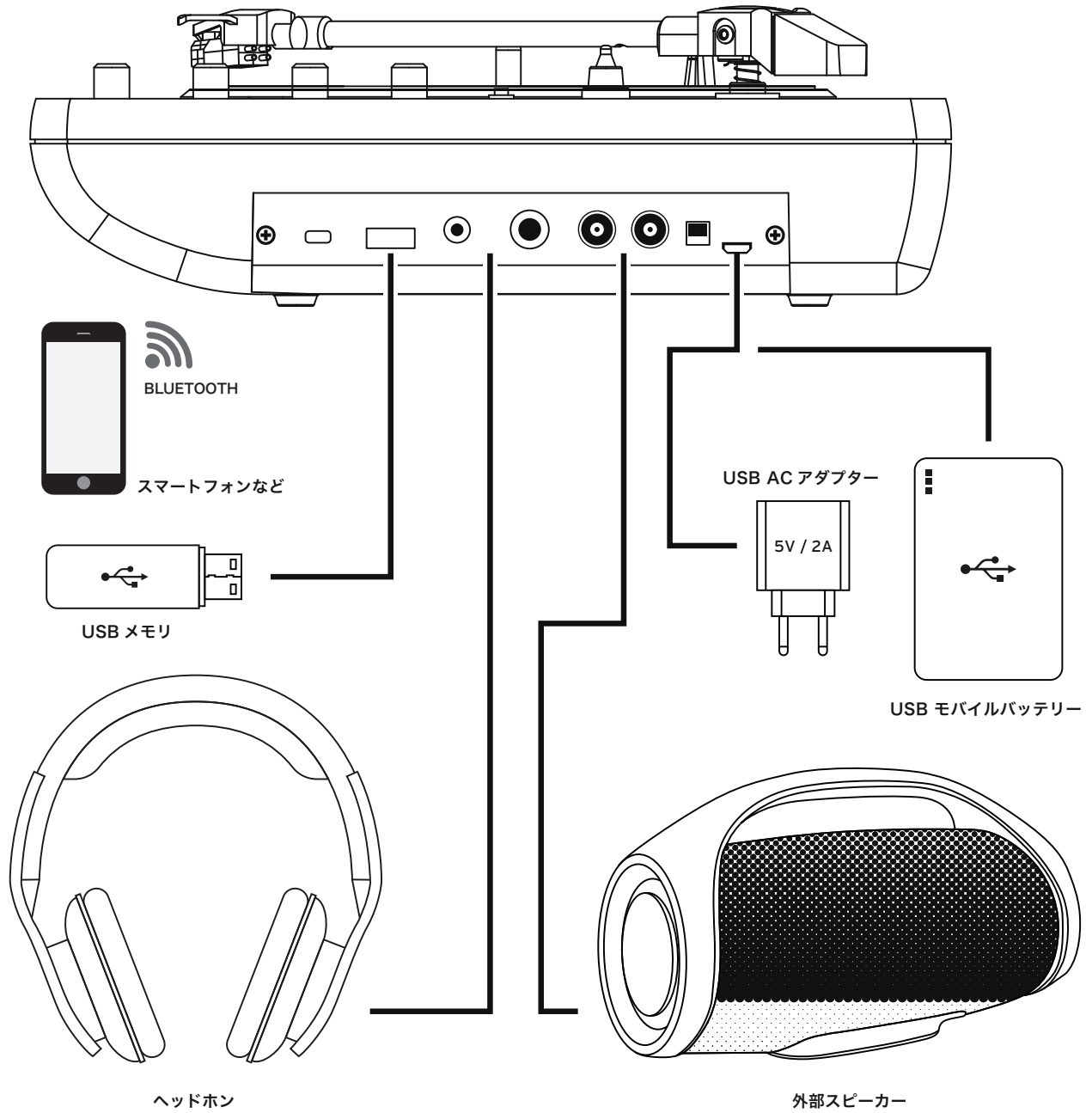
3. 交換する際、針先のロッドと針チップが、図のようにアンカーの方向に正しくセットされているかどうかを確認します。



## 技術仕様

- タイプ：..... ベルトドライブ
- 入力：..... ステレオミニ AUX 端子（ $\phi 3.5\text{mm}$ ）、Bluetooth オーディオ
- 出力：..... RCA 端子（マスター）、USB-A 端子（USB レコーディング用）、ヘッドホン端子（ $\phi 6.3\text{mm}/3.5\text{mm}$ ）
- レコーディングフォーマット：MP3（256 kbit/s）
- レコーディング音質：..... 16 bit / 44.1 kHz
- 内蔵スピーカー最大出力：..... 3W
- バッテリー・タイプ：..... 18650 リチウムイオン充電電池（1860 mAh 以上・別売）
- 電源端子：..... 5V / 2A micro USB-B 端子
- サイズ：..... 370 x 95 x 260 mm
- 重量：..... 1.98 kg

# 接続例



製品の改良のため、仕様および外観の一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。  
Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。  
その他の登録商標および商品名は、それぞれの所有者に帰属します。



Reloop Trademark  
Global Distribution GmbH  
Schuckertstr. 28  
48153 Muenster / Germany  
© 2019  
www.reloop.com



株式会社銀座十字屋  
ディリгент事業部  
dirigent.jp